

【地区別将来展望】

地区	項目	修正箇所
河北地区		<p>河北地区は、本市の北東部に位置し、地区の中心部には追波湾へ注ぐ東北地方最大の河川である北上川が、西部には石巻湾へと注ぐ旧北上川が流れ、北上高地から連なる上品山、硯上山などの山々、リアス式海岸を有する三陸海岸、白鳥の飛来地である富士沼や長面浦など、多彩な自然に恵まれた地区です。</p>
	現況	<p>本地区では、これらの多様な環境を活かした産業が営まれており、農業は法人化が進み、稲作を中心に麦・大豆など様々な農作物が作られています。その他にも林業や漁業などが営まれ、「河北せり」「べっこうしじみ」「長面カキ」など多くの特産品が作られています。</p>
		<p>また、地域コミュニティの活性化や地域の人材育成を目指した取組も行われ、幅広い文化・屋内スポーツ・学習・交流活動を行うことができる「河北総合センター（ビッグバン）」、世代を問わず屋外スポーツに親しむことのできる「追波川河川運動公園」など文化スポーツ施設が充実しています。</p>
	主要課題	<p>災害対策については、近年、大雨時に住宅や農地・水路などに甚大な被害が発生していることから、既存の排水処理施設などの見直しや内水排除への対策が求められているとともに、地区面積の多くを山林が占めていることから、森林整備を推進することにより土砂災害を防止するなど災害対応体制を構築する必要があります。</p>
施策展開の方向	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「上品の郷」を経済・情報・交流の場とし、旧来の商店街と連携して地域のにぎわいを創出し、地域振興と観光振興を図ります。 	

地区	項目	修正箇所
雄勝地区	現況	令和2年には、雄勝中心部地区拠点エリア「硯上の里おがっ」に、 震災により被災した 「雄勝硯伝統産業会館」や「雄勝観光物産交流館（おがっ たなこや）」が再建・新設され、地区の観光・商業の振興、地域振興の中核を担う施設として期待されています。
	主要課題	名振地区の「おめつき」 をはじめとする地域の特色ある伝統文化が 、人口減少や少子高齢化などによる担い手不足により存続が困難になっています。
河南地区	現況	河南地区は、本市の西部に位置し、桜の名所として知られる県立自然公園「旭山」を中心とした丘陵地帯と、広大な美しい田園が広がる地区です。東日本大震災後には、 一部の地域に新しい住宅地が整備され 、半島沿岸部から内陸部への移転により 人口が増加しました 。 観光においては、桜の名所である「旭山」があり、春になると桜が満開になり、訪れる人の目を楽しませてくれます。明治時代後期に造られた日本庭園である国指定名勝「齋藤氏庭園」では、 庭園から背後の丘陵地まで一体感のある空間が近代庭園として高く評価されており 、春の桜、初夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と、四季折々の風情が楽しめるほか、庭園の付近には宝ヶ峯遺跡があり、縄文時代後期の土器などが発掘されています。
	主要課題	移転による人口の増加でベッドタウン化が進み、それに対応した道路網などのインフラ整備や公共交通体系の整備が追いついていない地域がある一方で、急激な人口の減少や少子高齢化が課題となっている地域もあります。

地区	項目	修正箇所
桃生地区	将来展望	肥よくな大地を活かした稲作、安定した生産が可能な施設園芸、ブランド化による高い競争力を有した畜産業などバランスの取れた農業が発展し、 地域協働のまちづくりを推進することにより、誰もが安心して地域に住み続けることのできる社会が営まれています。
北上地区	現況	北上地区は、本市の北東部に位置し、 東北随一 の大河「北上川」を河口に持つ追波湾に沿った東西に細長い地区です。海岸は「三陸復興国立公園」に指定されており、三陸特有のリアス式海岸が続き、沖合には海ツバメやウミネコなどの繁殖地として知られている鞍掛島、双子島などの島々が点在しています。翁倉山は、国の天然記念物に指定されている「いぬわし」の営巣地として知られ、「北上川」の河口には 「残したい日本の音風景100選」にも選ばれている ヨシ原の大群落が開放的な空間を造りだしています。ほかにも、鯨伝説で有名な「神割崎」、幾多の地震にも 耐え抜き、受験の神様として有名な 「釣石神社の巨石」など、自然を活かした観光資源が多くあります。
		地区の特色のひとつとしては、住民団体を中心とした行政と住民が連携した地区活性化への取組も積極的に行われており、東日本大震災により被災した施設などを再建し、地区の拠点となる「 にっこり地区 」は、住民主体による計画の策定が行われました。
		こうした取組により完成した拠点は、行政、教育、子育て、コミュニティ活動など生活に必要な公共機能を集約させた地域の拠点としての役割が期待されます。 震災後に整備された観光施設としては、「白浜ビーチパーク」「北上観光物産交流センター」などがあり、 交流人口の増加など新たな観光拠点として期待されています。
主要課題	全国的に加速する人口減少、少子高齢化の影響や東日本大震災後の地区外や他市町村への転居、転出者の増加により、令和2年9月時点での高齢化率が約43%と他の地区と比較しても高くなっており、 多世代交流の機会の減少などによる住民同士の関わりの希薄化の進行、特に若者がコミュニティの輪に入らないなど、地域コミュニティの課題が顕著になっています。	

地区	項目	修正箇所
北上地区	将来展望	<p>住民と行政が連携した地域活性化の取組を推進し、稲作、施設園芸、畜産のバランスの取れた農業、海、川の恵み豊かな水産物、「ヨシ原」「神割崎」などの風光明媚な自然景観など、豊かな地域資源を活用することにより、交流人口の増加、移住・定住の促進が図られ、観光事業も活性化した豊かな地域社会が営まれています。</p>
	施策展開の方向	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな地域資源の魅力を発信し、交流人口の拡大や移住・定住の促進を図るとともに、多世代交流の機会を増やし、若者がコミュニティの輪に入る取組を行なうことなどにより、地域コミュニティの活性化を推進します。
	施策展開の方向	<ul style="list-style-type: none"> 安定した地域医療体制を維持するとともに、地域の医療ニーズに対し柔軟に対応できる仕組の構築や共に支え合う仕組づくりを推進します。 住民の利便性向上や定住促進を図るため、市内他地区へのアクセスがしやすく、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域公共交通体系を形成します。
牡鹿地区	-	-